

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

良質なたんぱく質の提供

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社は、食料消費の持続性 確保や消費者の健康増進のために、安定的に良質なたんぱく質を供給するサプライチェーンの各機能を強化します。

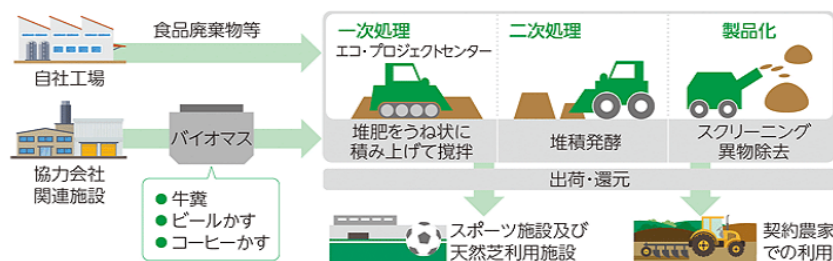
<目標・取組>

- ①長年にわたり培ってきた食肉加工技術のさらなる発展によって、妥協しない美味しさを追求します。
- ②畜産関連企業や畜産農家と協働して、食肉業界が抱える様々な課題の解決を図りながら、持続可能な畜産産業に貢献します。
- ③多様なライフスタイルに対応した健康・簡便志向商品を拡充します。
- ④新たなたんぱく質を原料とした市場の確立に貢献します。
- ⑤ロングライフ商品の拡充や包装容器の改善により、家庭内での食品ロスを削減します。

<達成状況（2023末時点）>

②食品循環資源リサイクル

自社工場にて排出された食品加工残渣、排水汚泥や牛糞などを利用した肥料を年間500t生産し、契約農家やスポーツ施設の芝生管理などに利用されている。



米久エコ・プロジェクトセンターと堆肥拡販作業の様子

③⑤冷凍食品事業の強化

簡便調理ニーズへの対応やフードロス削減への貢献として、冷凍食品事業を強化し、2023年度に167億円であった冷凍食品販売額を2026年度までに200億円とする目標を掲げて取り組みを進めている。

④プラントベースフードの開発強化

当社は、将来的に起こり得る人口増加に伴うたんぱく質の需要増加への対応として、動物性たんぱく質に代わるたんぱく質源を提供していく責務があると考え、牛・豚・鶏に次ぐ第四の肉となる商品を提供している。具体的には、大豆ミート惣菜「まるで肉！」シリーズを2020年から販売し、継続してラインアップを拡充し、パッケージのリニューアルや販促を通じて商品の定着を図っている。

<目標に向けた今後の取組>

当社のマテリアリティに基づき、引き続き各取り組みを進める。

(<https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/materiality/tabid273.html>)

<関連情報>

<https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/ir/middleterm.html>

(東京栄養サミットアクションプランにおいて賛同した項目)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 食料システムの変革 | <input checked="" type="checkbox"/> 個人の栄養に関する行動変容の促進 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 食関連産業のイノベーションの推進 | <input type="checkbox"/> 途上国・新興国の栄養改善への支援 |

【企業・団体の概要】

食肉加工品の製造及び販売、食肉の加工及び販売、調理加工食品、総菜類の製造及び販売などを行うグループ内傘下子会社の経営管理及びこれに付帯する一切の業務